



白虎隊の剣舞を奉納する吾妻小の児童

## 東軍殉難者を慰霊

### 戊辰戦争・東軍殉難者慰霊祭

戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、東軍殉難者慰霊碑前で行われました。

慰霊祭には母成弔霊義会の会員らが参列。母成峠読経の後、母成弔霊義会の氏家利晃副会長が祭文を読み上げた後、前後公町長らが焼香し、殉難者の冥福を祈りました。

また、吾妻小学校4年生の児童13人が白虎隊の剣舞を奉納し、殉難者の霊を慰めました。



英霊の冥福を祈り献花する前後町長

## 800余柱の冥福を祈る

### 町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月8日、学びいなで行われ、町遺族連合会会員ら約130人が参列し、第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余柱の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、前後公町長が「尊い犠牲の上に築かれた現在の平和と繁栄を維持します」と式辞。小谷尚克県会津保健福祉事務所長、長沼一夫町議会議長が追悼の辞を述べた後、参列者が献花をし、英霊を慰めました。

## 鉄人レースを繰り広げる

### 第21回うつくしまトライアスロン in あいづ

「第21回うつくしまトライアスロン in あいづ」は8月25日、猪苗代湖・天神浜をスタートし、会津若松市の会津大学でフィニッシュするコースで開かれました。

大会には、県内外から集まった460人の「鉄人たち」が参加し、スイム1.5キロ、バイク40キロ、ラン10キロの計51.5キロで争われ、猪苗代湖と磐梯山を望む会津路で鉄人たちが熱いレースを繰り広げました。



熱いレースを繰り広げる選手たち

## 2期8年町政発展に尽力

### 前副町長大川原氏が退任

任期満了に伴う前副町長大川原久夫氏の退任式は8月13日、町役場で行われました。

大川原氏は2011(平成23)年から2期8年にわたり副町長を務め、東日本大震災発生後の対応など町政発展に尽力されました。退任式では、職員に「8年間、誠意をもって職務を遂行してきました。今後も町民目線に立った行政運営をお願いします」とあいさつ。前後公町長から感謝状を受けました。



前後町長から感謝状を受ける大川原氏(右)



表示板を設置した五十嵐大佳委員長(左)と菅沼区長

## おもてなしの心でお迎え

### 西館観音堂に案内表示板を設置

西館区では7月20日、同区内にある「猪苗代三十三観音<sup>さんじゅうさん</sup>外八番西館観音堂」に亚克力製の表示板を設置しました。平成28年に「会津の三十三観音めぐり」が日本遺産に認定を受けてから、同観音堂を訪れる人が増えたため、地区住民が中心となって設置しました。同観音堂は「いなわしろ三十三観音」の「番外八番」となります。西館区の菅沼敏高区長は「訪れる人たちをおもてなしの心でお迎えしたいです」と話しました。



絵画作品を楽しむ来館者

## さまざまな企画を実施

### 天鏡閣で福島県民の日イベント開催

8月21日の「福島県民の日」を記念したイベント「天鏡閣・迎賓館夏のしらべ」は8月17、18、21日の3日間、同所で開かれました。期間中は、福島県迎賓館が特別公開されたほか、いなわしろ民話の会による昔語りや熊倉宗久社中による抹茶体験などが行われました。また、天鏡閣館内では、「日本画院・ゆずの会展」も開かれ、来館者がゆずの会会員による絵画作品を楽しみました。

## 住宅用火災警報器を町に提供

### 猪苗代消防署が設置を呼び掛け

猪苗代消防署では7月31日、住宅用火災警報器を町内に住む高齢者を対象に有効活用してほしいと、警報器130台を町に提供しました。この住宅用火災警報器は、一般社団法人全国消防機器協会が実施する住宅防火・防災キャンペーンに合わせて、住宅用火災警報器などの配布モデル事業実施対象地区に配布されたものです。一条洋一猪苗代消防署長は「今回の配布に合わせて、設置について広く呼び掛けていきたい」と話しました。



火災警報器の設置を呼び掛ける一条署長(右)と前後町長

## 上戸浜で清掃活動

### 猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦

町が主催する「猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦」は8月4日、上戸浜で行われ、町内外から約80人が参加しました。開会式では、前後公町長が「皆さんの継続的な取り組みにより、環境省の平成29年度全国湖沼水質ランキングにおいて9年ぶりに猪苗代湖がランクインしました。今後も美しい猪苗代湖を保全しましょう」とあいさつを述べました。参加者は、湖岸に打ち上げられたごみを熊手などを使って丁寧に拾い集めました。



上戸浜に打ち上げられたごみを集める参加者